



九度山中学校
保健室
令和8年2月2日



お正月が来たと思ったら、あっという間に2月。1か月の日数が少ないことから「逃げる2月」ともいわれています。今月は何をしようかな?と思っている間にも時間はどんどん過ぎていってしまうということですね。今月は「これをやる」といった何か目標を決め、すぐ行動し有意義な1か月にしたいですね!また、試験や進級、進学など「将来」に目が向く時期でもあります。健康管理に心がけて、新しい一步への準備を始めましょう。



受験生の皆さんへ



受験日が近くなっている人もいますが、緊張していますか?早く終わってほしい!という気持ちと不安が入り混じっていると思います。そんな皆さんに、受験の日までぜひ心にとどめておいてほしいことがあります。

◆あなたは必ず成長している。“1か月前の自分”と比べよう。

(人と比べてはいけない。自分自身が成長しているかどうかを考えることが大切!)

◆大変なのはあと少し!残りの日々、本気を出す!と覚悟を決めよう。

(ついだらけたくなってしまうけど、最後まで気を抜かずに諦めないこと!)

◆何度も言いますが、健康第一。食事と睡眠はしっかり。

(頑張りの成果を出せるのも心身の健康が必須。自分のからだを大切に!)

◆「大丈夫、頑張っている!できる!」自分を励ます呪文を唱えよう!

(好きなアイドルやペットの名前でもいい。元気になる呪文をつぶやこう。)

皆さん本当にここまでよく頑張りました!努力は決して裏切れません!!心配なことや不安なことがあれば、保健室に気持ちを吐き出しに来てください。皆さんの悩みを共有して、少しでも悩みやつらさを軽減したいと考えています。



自分を信じて、頑張れ3年生!!



自他の生命の尊重（道徳科）

令和8年1月22日に3年生の道徳の授業で「優介の決意」という教材を使って学習しました。科学技術や医療の進歩の中、生命倫理に関する課題を手がかりに生命の尊さについて考えさせ、自他の生命を尊重する態度を養うことをねらいとした授業です。養護教諭も教員の一人として参加しました。



あらすじ・・・「臓器提供意思表示カード」を持つ優介が事故に遭い、脳死状態となった。しかし父への臓器提供は行われず優介は息を引き取る。加奈美は「それがよかったのか」と考え続ける。



授業で話し合ったこと

優介や父親・母親・友人のかなみの気持ちを考えそれぞれの立場で話し合い意見をまとめました。



生徒の感想を紹介します。



本当にいつ何が起こるかわからないので、普段の生活から「命」を大切にして、生きていこうと思いました。臓器提供すると決めていても、その人の立場によっては受け入れたくないという意見もあるんだなと感じました。

自分がもし臓器提供意思カードを書くのであれば、きちんと家族と話し合いたいと思った。

臓器移植は人助けだからしたほうがいいというのは違っていて、科学的・論理的な考え方ではなく自分と家族の命の考え方で判断すべきだとわかった。命を大切にすることは自分ひとりの話ではない。

命の尊さや臓器提供について他の人はどんな考えを持っているのか?自分はどう考えるのか?など、子ども達は命に対する思いを聞き合いました。今回は、生活班グループで話し合いました。友達や教師の意見を聞き自分の考えを深める大切な時間となりました。大切な命をどのように捉えるかご家庭でも話し合う機会を持っていただきたいです。

